

平成17年度

---

## 経営の重点課題と効率化への取り組み

～ お客様の満足と信頼を第一に ～

平成17年3月



# 目 次

当社をめぐる経営環境	1
経営の総合目標	4
経営の重点課題	
1．お客さまの満足のために	5
2．お客さまにより一層信頼していただくために	9
「よんでん効率化計画」	13
1．効率的な設備形成と運用に努めます	14
2．業務の効率化、組織の活性化を目指します	15
3．さまざまな分野で効率化を推進します	16

## 当社をめぐる経営環境

---

わが国では、経済が長期停滞を脱却しつつあるものの、巨額の財政赤字や少子高齢化といった構造的課題が横たわっており、前途はなお厳しい状況にあります。

こうしたなか、電気事業においては、平成17年4月より、小売自由化範囲が全ての高圧需要のお客さまにまで拡大されるのをはじめ、卸電力取引市場の運用開始や振替供給料金の廃止、送配電部門の会計分離など、かつてない大規模な制度改革が実施されることとなっており、当社を取り巻く競争環境は一段と厳しさを増しております。

なお、これに呼応する形で当社は本年4月より、平均4.23%の料金引下げを実施することいたしました。

また、原子力バックエンドにつきましては、平成17年度中に再処理等の事業を適正に実施するための経済的措置が法制化される予定であり、今後、事業者はこれらに基づき着実に事業を推進していくことが求められております。

さらに、地球環境問題に関しても、本年2月に京都議定書が発効しており、当社においても温暖化ガス排出抑制への取り組みを一段と強化していく必要があると認識しております。

一方、電力の安定供給にあたっては、その設備保全に万全を期しておりますが、地震や台風といった自然災害についても、ライフラインを預かる者として、できる限りの対策を講じていく必要があると考えております。

加えて、企業倫理を遵守し、企業の社会的責任を遂行することがすべての事業活動の大前提であり、社員一人ひとりがしっかりとした遵法意識と倫理観を持って業務を運営していくことの重要性が改めて問われております。

このような激変する事業環境にあつて、当社は、引き続きお客さまから選んでいただけるよう、

- ・事業運営のあらゆる面で「お客さま指向」を徹底し、お客さまの期待やニーズを的確に捉えたサービスの提供にグループの総力を挙げて邁進していくこと
- ・電力の安全・安定供給やエネルギーセキュリティの確保、環境保全などに、公益事業として、また、地域に根ざす企業として、社会的責任を全うすること

といった諸課題に取り組み、お客さまの満足と信頼を得ることによって、本格的な競争の時代をグループ一体となって勝ち抜いてまいります。



お客さまの満足のために  
お客さまにより一層信頼していただくために

## よんでんグループビジョン

当社では事業環境が大きく変容していく中で、よんでんグループが将来に向かって飛躍していくための羅針盤として、昨年、「2010年よんでんグループビジョン」を作成いたしました。お客さまに選択される企業グループを目指し、当ビジョンを共有しつつ、心を合わせてその実現に向けて取り組んでまいります。

### グループミッション(存在意義 使命)

エネルギーを中心として、  
人々の生活に関わるさまざまなサービスを、  
高い品質で提供し続けることにより、  
快適 安全 安心な暮らしと地域の発展に貢献します

### グループビジョン ~ 2010年に向け目指すべき企業グループ像 ~

#### 暮らしを支える マルチユーティリティ企業グループ

四国地域を基盤に、お客さまから最も信頼されるパートナーとして、エネルギーから情報通信、ビジネス・生活サポートまで、多様なサービスをワンストップで提供できる企業グループへの変革・成長を目指します

### 総合エネルギー

#### 情報通信

光ファイバー網を基盤とした  
情報・通信・映像統合サービス  
・IP電話 / SP / 電子認証  
・医療・自治体向けサービス

・電気事業  
・エネルギーコンサルティング / ESCO  
・ガス供給  
分散型電源, 新エネ  
海外コンサル・発電事業

#### ビジネス・生活サポート

環境・リサイクル  
介護・福祉  
住宅関連サービス  
水道・PF事業

競争に勝ち抜く  
コスト体質の  
構築

営業力の  
強化

技術レベルの  
維持・向上

戦略分野への  
経営資源投入

人材の育成と  
組織活力向上

四電グループ  
ブランドの  
醸成・強化

ビジョン実現に向けた6つの柱

## 経営の総合目標

当社では、電力小売の自由化範囲拡大など、今後さらに厳しさを増す経営環境のもと、経営活動の成果を総合的に評価するための指標として、以下の具体的な数値目標を設定しております。

総資本営業利益率(ROA)・・・収益性をはかる指標

目 標：4%以上(連結・17～19年度平均)

効率化の徹底や営業力強化、資産の圧縮等を着実に進めることにより、収益力と資産効率の向上に努めます。

<参考> 
$$\text{総資本営業利益率(\%)} = \frac{\text{営業利益}}{\text{総資本(総資産)}} \times 100$$

株主資本比率・・・安定性をはかる指標

目 標：28%以上(連結・19年度末)

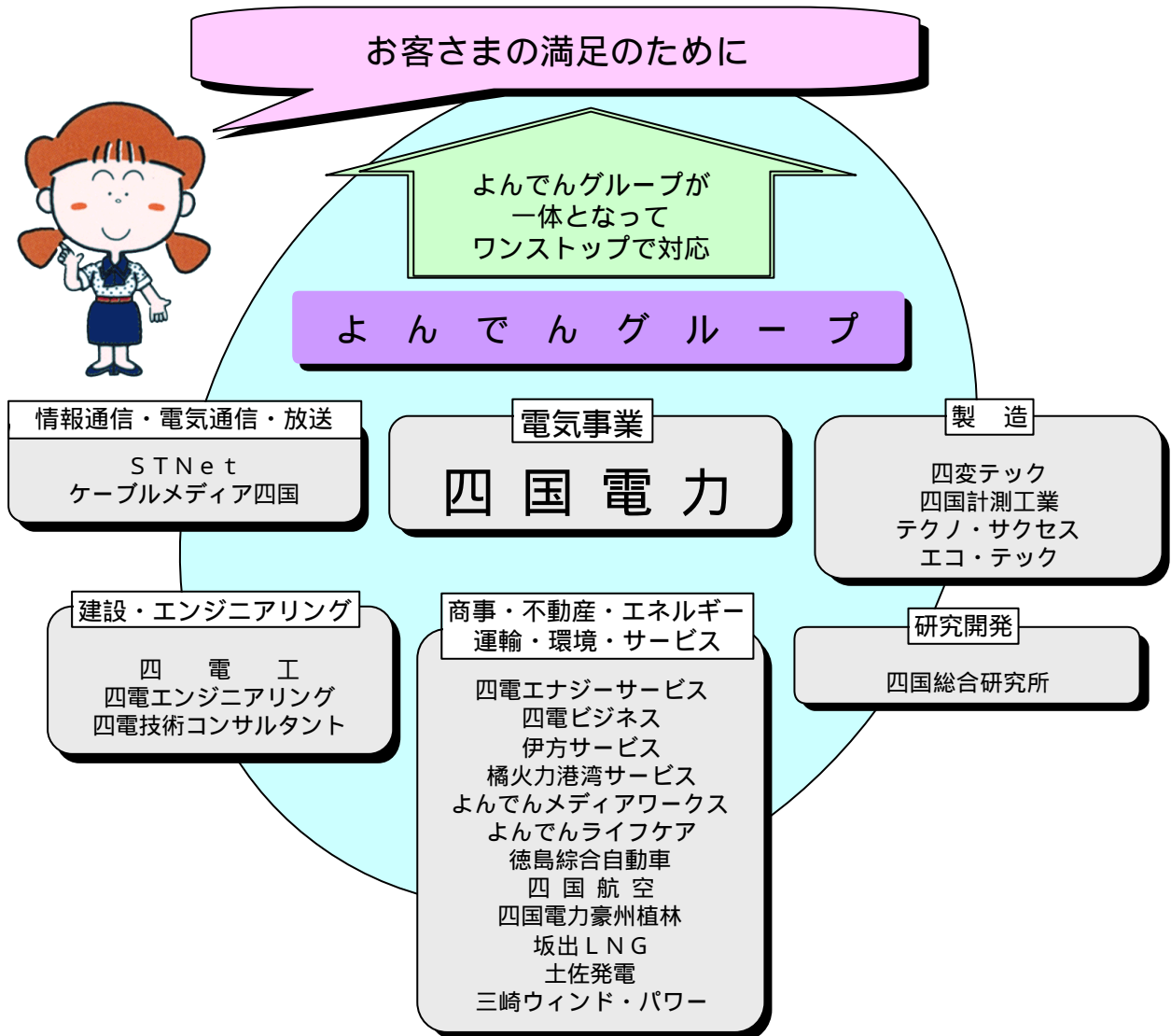
経営の安定性向上に向け、資産の圧縮と株主資本の充実により、株主資本比率の着実な上昇に努めます。

<参考> 
$$\text{株主資本比率(\%)} = \frac{\text{株主資本}}{\text{総資本(総資産)}} \times 100$$

# 経営の重点課題

## 1. お客様の満足のために

よんでんグループは、四国地域においてお客さまから最も信頼されるパートナーとして、電気を中心に広くエネルギーに関することから、情報通信、生活サポートまで、皆さまの生活に関わるさまざまなサービスを、高い品質でお届けすることを目指します。これらのサービスを、よんでんグループが一体となってワンストップでお届けすることにより、皆さまの快適・安全・安心な暮らしをサポートし、地域の発展に貢献したいと考えています。

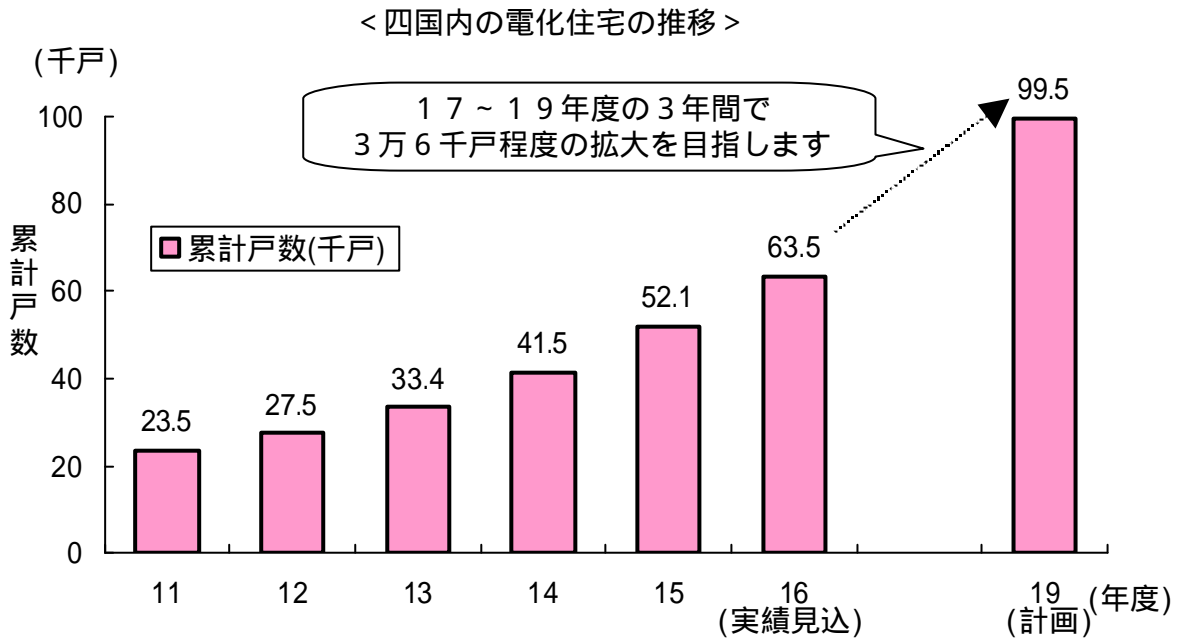


## (1) 電気を利用した快適な暮らしづくりをお手伝いします。

お客様の快適性指向の高まりや住宅の高品質化により、IHクッキングヒーターなどの電気調理器、電気温水器・エコキュート、エアコンなどを備えた電化住宅に対する関心が高まっております。

よんでんグループでは、電化住宅の快適性や経済性をご理解いただくためのさまざまな取り組みを進めています。

### 好評です！電化住宅



電化住宅にお住まいの皆さまには

#### エコノミeプラン

「電化Deナイト」と「e割」のお得なセット契約

**電化Deナイト(季節別時間帯別電灯)**  
電気料金を季節ごと、時間帯ごとに設定した電気料金メニューです。昼間の料金は若干割高になりますが、夜間は昼間の3割程度のお得な料金になります。

**e割(全電化住宅割引)**  
電化住宅の皆さまが、「電化Deナイト」にご加入いただくと、電気料金が10%割引になります。  
( )割引額の上限は1ヶ月あたり3,150円(消費税等込)です。



( 2 ) エネルギー利用に関する提案・サービス活動を展開しています。

よんでんグループの技術力を活用し、業務用や産業用のお客さまが抱えるエネルギー利用に関する技術的課題に対して、より良い解決策を提案させていただく「技術サポート活動」を展開しております。

技術サポートによるソリューションサービス

お客さまへの訪問活動を通じて、省エネルギー対策や設備保全対策、デマンド管理等の負荷平準化対策など、お客さまの抱えるさまざまな技術的課題の解決策についてご提案を行っています。

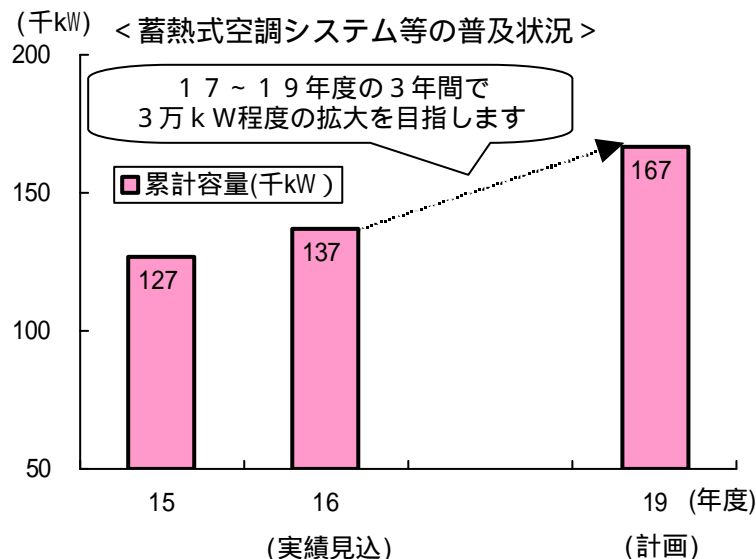


<お客さまの工場での負荷実態調査>

ソリューションサービス実施状況

年度	コンサルティング受託件数			
	13	14	15	16(実績見込)
省エネ対策	84	213	344	360
設備保全対策	16	32	157	262
負荷平準化対策	12	6	94	100
その他	197	357	174	303
計	309	608	769	1,025

また、蓄熱式空調システムや業務用電化厨房、分散型電源など、電気のご利用方法について幅広く提案活動を行っております。



( 3 ) 情報通信や生活サポートなど、さまざまなサービスで  
お客さまの快適ライフをサポートします。

よんでんグループでは、人材、設備、技術などのグループの経営資源を有効に活用して、電気やエネルギーはもとより、情報通信から生活サポートまで、お客さまのお役に立てるようさまざまな取り組みを進めております。

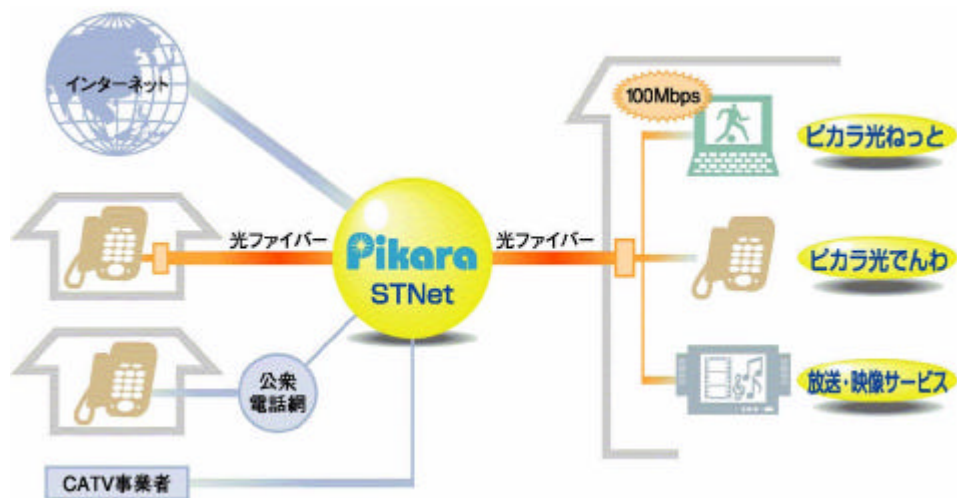
P i k a r a (ピカラ)

「STNet」では、光ファイバによる高速・大容量通信サービス  
「ピカラ光サービス」を昨年10月より開始いたしました。

サービス開始以降、半年で約4千口のお申込みをいただいております。

ピカラが提供するサービス

- 最大100Mbpsのインターネットサービス「ピカラ光ねっと」
- 通話料金等がお得な「ピカラ光でんわ」
- 多チャンネル、高品質な放送、映像サービス「ピカラ光てれび」



ホームページアドレス : <http://www.pikara.jp/>

介護ビジネスへの取り組み

「よんでんライフケア」では、地域に根ざした事業として、介護付有料老人ホーム事業を展開しています。

「アミーユよんでん道後」(松山市紅葉町・平成15年10月オープン)

「アミーユよんでん栗林」(高松市三条町・平成16年10月オープン)

ホームページアドレス : <http://www.yondenlc.co.jp/>

## 2. お客さまにより一層信頼していただくために

### (1) 安全に安定的に電気をお届けしてまいります。

四国地域のエネルギー供給を担う企業として、内外のエネルギー情勢や地球環境問題などにも配慮しながら、将来にわたってバランスのとれた電源構成を確保し、安定的で効率的な電力供給を継続してまいります。

水力発電は、貴重な国産エネルギーであり、環境にも優しいことから、年間を通して有効に活用してまいります。

火力発電は、発電量の調整が容易であるといった機動性を有しており、環境対策に十分配慮しつつ、効率的な運転に努めてまいります。

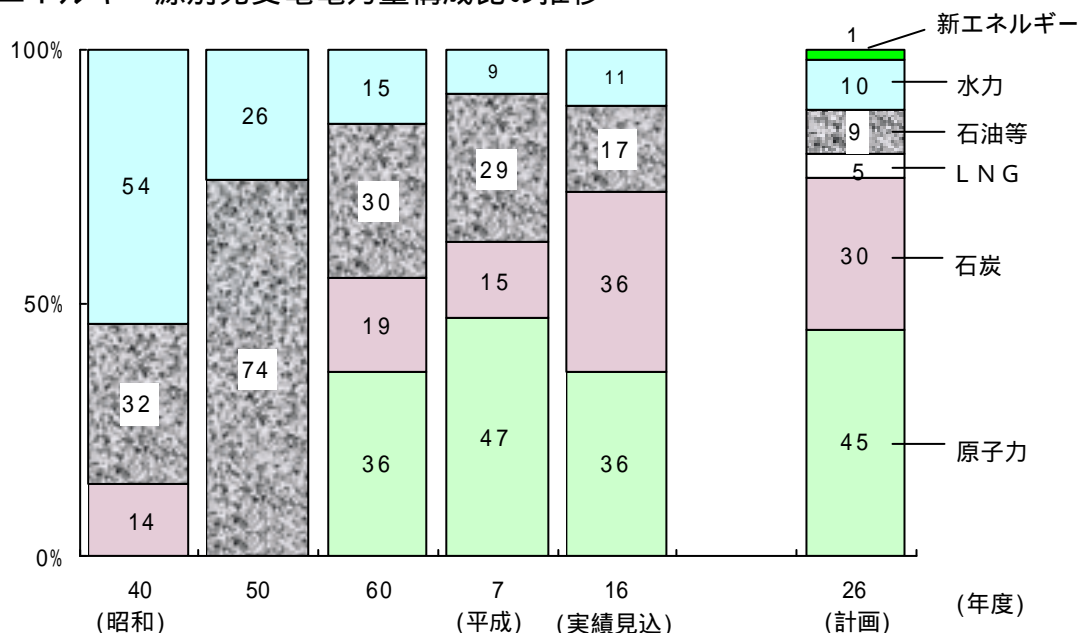
また、石炭や石油に比べCO<sub>2</sub>排出量が少なく環境に優しいLNG（液化天然ガス）を、坂出發電所において平成22年度を目途に導入いたします。

原子力発電は、当社の電力供給の中核を担う電源であり、発電時にCO<sub>2</sub>を出さないなど環境面にも優れていることから、今後とも安全かつ安定的に運転してまいります。そのために、

- ・まず何よりも安全面での管理を厳格に実施すること
- ・そして皆さまへの積極的な情報公開を行うこと

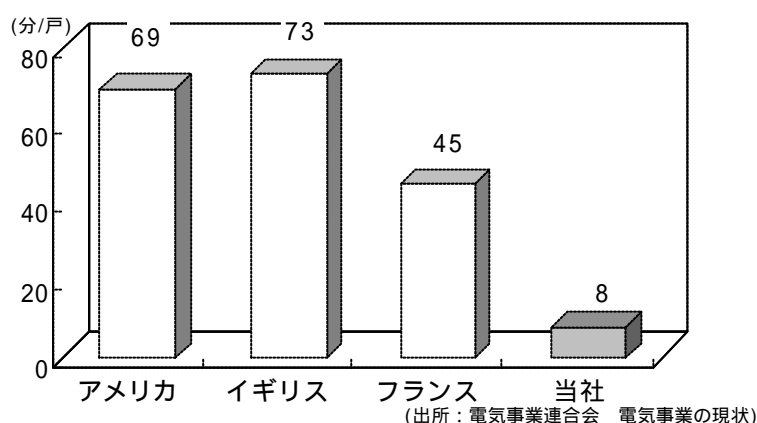
を徹底してまいります。

エネルギー源別発電受電電力量構成比の推移



当社の電気の品質は、世界的にも最高レベルにあります。今後とも、発電設備や電力輸送設備等への新技術・新工法の導入やきめ細かな保守点検により、現在の水準を維持するように努めてまいります。

諸外国と比較した1軒あたりの年間事故停電時間数



(当社は平成15年度、アメリカは平成14年、イギリス、フランスは平成13年実績)

また、当社は地域のライフラインを担う事業者として、昨年9月、東南海・南海地震が発生した場合の設備被害の状況とその対策について取りまとめました。

当社では、お客さまにいつも安心して電気をお使いいただくため、地震や台風などの自然災害に対しても、できる限りの対策を講じ、電力の安定供給に努めてまいります。

東南海・南海地震対策 (平成16年9月発表)

設備面の対策	津波による浸水被害対策 (高知系統制御所の移転、変電所設備の一部嵩上げなど) 送電線碍子(がいし)の免震化 復旧資材の増備 衛星通信設備の増備
ソフト面の対策	被災時の復旧体制の整備 防災業務計画の見直しと防災訓練の実施 お客さまに対する防災広報の実施

## ( 2 ) 環境優良企業を目指してまいります。

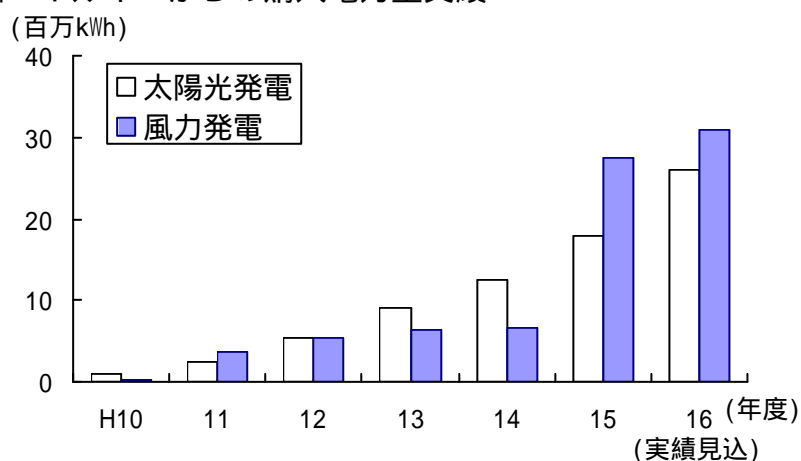
当社は、持続可能な社会形成に貢献していくため、「よんでん環境方針」のもと、地球温暖化対策、地域環境保全、循環型社会形成などの取り組みを積極的に推進しています。

地球温暖化対策では、原子力を中心とした電源の多様化、新エネルギーの利用推進をはじめ、あらゆる設備・運用面での対策に積極的に取り組んでいます。さらに、本年7月には、西条発電所に木質バイオマスを本格導入するほか、坂出發電所に導入することとしているLNG火力についても、工程を1年前倒しして平成22年度の導入を目指すこととしました。このほか、「日本温暖化ガス削減基金」や世界銀行の「炭素基金」への出資により、海外プロジェクトへの協力によるCO<sub>2</sub>排出削減クレジット取得にも取り組んでいます。

また、地域環境保全のため、あらゆる環境負荷の低減に努めるとともに、ゼロエミッションを目指した廃棄物の減量化や有効利用の促進などを積極的に推進しています。

さらに、新たに制定した「よんでんグループ環境方針」のもと、グループ各社本店へ環境マネジメントシステムを導入するとともに各社共通の環境管理目標を設定するなど、グループ大の環境管理強化を推進しています。

新エネルギーからの購入電力量実績



CO<sub>2</sub>排出削減クレジットの取得

	CO <sub>2</sub> 排出削減クレジット	出資金額
世界銀行炭素基金	200万t-CO <sub>2</sub> 程度	1,000万ドル
日本温暖化ガス削減基金	50万t-CO <sub>2</sub> 程度	300万ドル

( 3 ) お客さまとの対話やふれあいを通じ、  
信頼される企業を目指してまいります。

当社は、お客さまとの対話やふれあいを通じて、地域の皆さまに親しまれ、信頼される企業を目指しています。

#### さまざまな活動を通じて

当社は、各地の事業場において

- ・ 広く各界からのご意見、ご要望をお伺いする電力懇話会の実施
- ・ 「ヨンデンプラザ」での各種イベントの開催
- ・ 次世代を担う子供たちに科学の素晴らしさを体験してもらうための「サイエンスショー」などの開催
- ・ 自治体への街路灯の寄贈や文化財の電気設備点検、清掃奉仕活動
- ・ 伊方3号機プルサーマル計画に関する地元説明会の開催

など、さまざまな活動を実施しています。



< 子供たちに人気のサイエンスショー >



< 文化財の照明設備の点検・清掃 >



< プルサーマル説明会 >



## 「よんでん効率化計画」

当社は、毎年「よんでん効率化計画」を作成し、発電から電気の輸送・販売にいたる経営のあらゆる分野において効率化に取り組んでおります。

17年度につきましても、

- 1．効率的な設備形成と運用
- 2．業務の効率化、組織の活性化
- 3．その他のさまざまな分野における効率化の推進

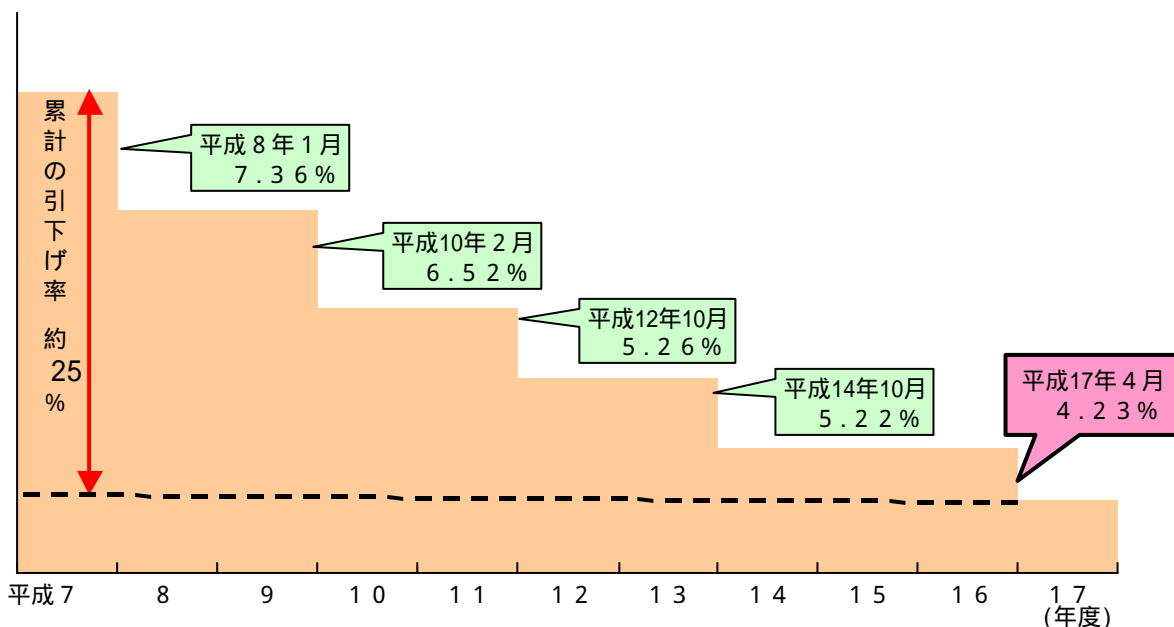
を3つの柱として、今後3カ年を展望した新たな目標を設定し、従来の枠にとらわれない斬新な発想で、創意工夫を重ねながら、より一層のコスト削減に取り組んでいく所存です。

これら効率化によって得られた成果については、電気料金の引下げやお客さまサービスのさらなる充実のほか、財務体質の強化や安定配当の継続等を通じて株主の皆さまのご期待にも応えてまいりました。

当社は、その一環として、本年4月から平成8年1月以降5回目となる電気料金引下げを実施いたします。引下げ率は4.23%であり、平成8年以降の累計引下げ率は約25%になります。

また、当社の送電ネットワークを介して電気を供給する事業者の方々のネットワーク利用料金についても同時に引下げを行います。

### 電気料金引下げの推移

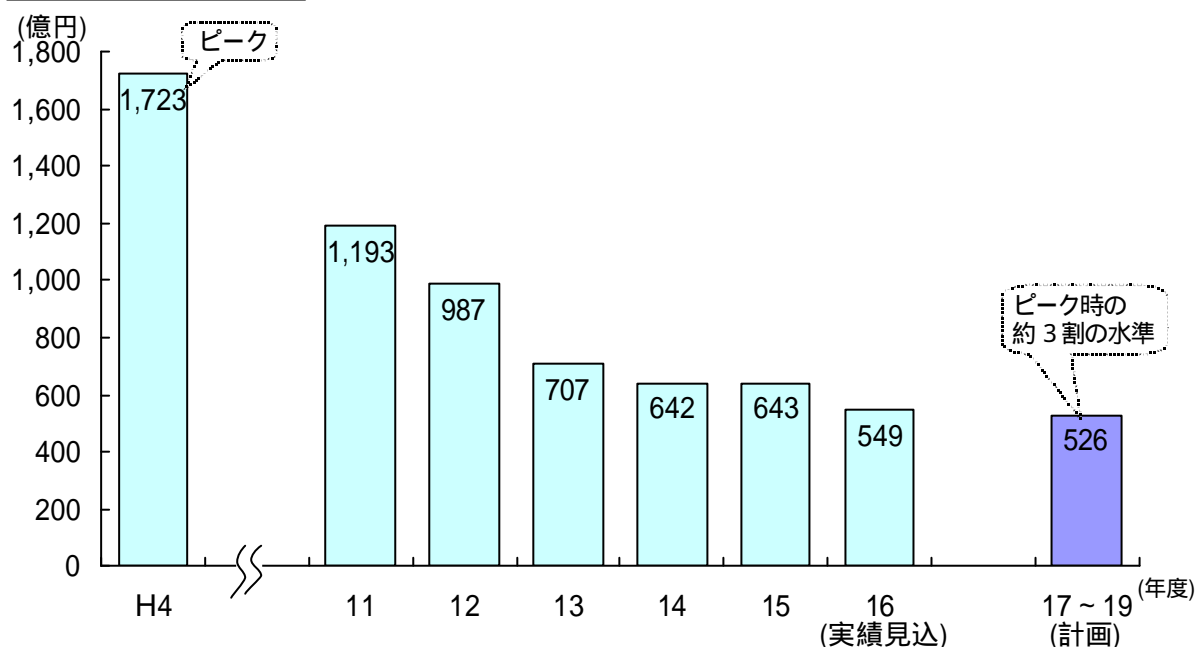


## 1 . 効率的な設備形成と運用に努めます

平成17～19年度の年平均設備投資額を、ピーク時(平成4年度)の約3割の水準となる526億円に抑制します。

当社は、電力需要の増加に対応して計画的に設備の改良・増強を実施しておりますが、その実施にあたっては、工事を厳選のうえ、設計の合理化や機器仕様の見直しを行うなど、設備投資の削減に向けた取り組みを強化しております。

設備投資額の推移

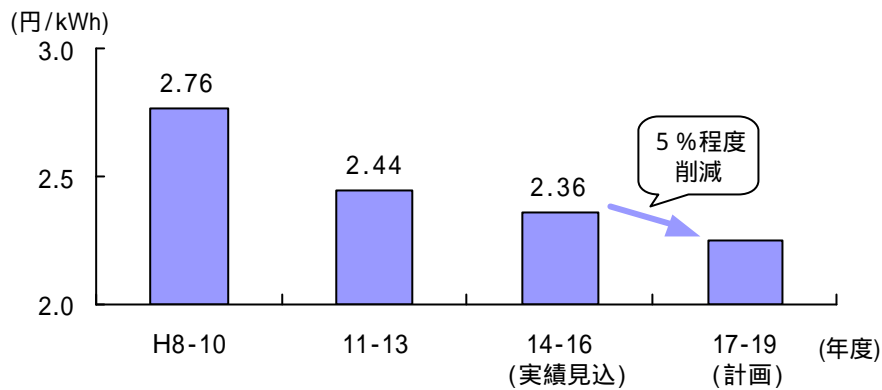


平成17～19年度の間、の修繕費(販売電力量あたり)を、平成14～16年度の平均に比べ、5%程度削減します。

発電所や送配電線の保守・修繕にかかる費用は、設備の拡充や経年化に伴い増加が見込まれますが、グループ企業の技術力や人材を効果的に活用しながら、最大限の創意工夫を凝らすことにより、供給信頼度を落とすことなく修繕費の削減に努めています。



### 修繕費(販売電力量あたり)の推移



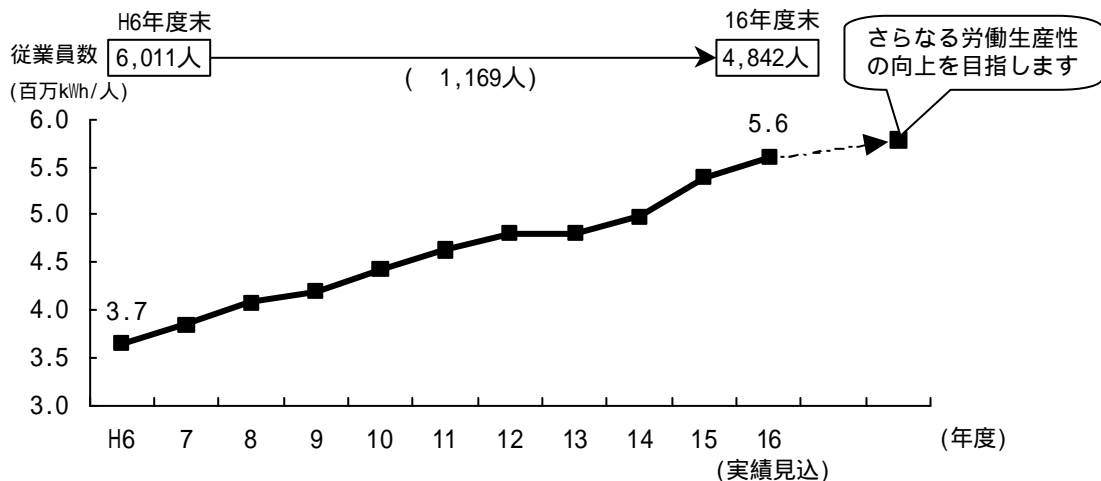
## 2. 業務の効率化、組織の活性化を目指します

業務運営の効率化や組織の活性化、要員のスリム化によりさらなる労働生産性の向上に努めてまいります。

当社は、効率的な業務運営に向けた取り組みや組織の活性化・要員のスリム化のための諸施策にいち早く取り組んでいます。その結果、従業員数は平成6～16年度までの10年間で1,169人減少し、この間の従業員1人当たり販売電力量(労働生産性)は、大幅に向上しています。

今後とも、情報通信技術の活用などによる業務運営方法の改善、要員の最適配置などをグループ大で推し進めることにより、さらなる労働生産性の向上に努めてまいります。

### 労働生産性の推移



### 3 . さまざまな分野で効率化を推進します

平成17～19年度の間、諸経費（販売電力量あたり）を平成14～16年度の平均を下回る水準を目指します。

消耗品費、賃借料、委託費などの諸経費については、これまでも費用対効果を見極めながら節減に努めてまいりました。

今後につきましても、従来の枠にとらわれることなく、より一層の創意工夫でコストダウンを徹底してまいります。

原子力発電所の設備利用率の向上を目指します。

原子力発電所の設備利用率の向上は、コストダウンだけでなく、CO<sub>2</sub>排出量の削減にも寄与することから、引き続き、伊方発電所の安全・安定運転を図り、年間設備利用率の向上に努めてまいります。

#### 原子力発電所設備利用率の推移

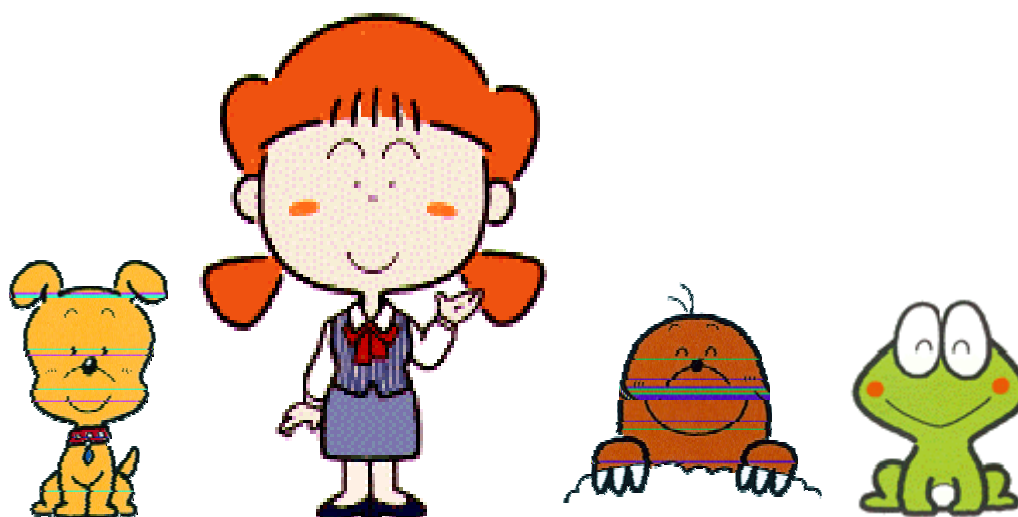
	14年度	15年度	16年度 (実績見込)	17-19年度平均 (計画)
設備利用率	87.9%	84.9%	77.7%	84%
	3カ年平均 83.5%			

当社では、以上のように、さまざまな経営課題に積極的に取り組むことにより、お客さまや株主の皆さまをはじめ、当社を支えていただいている皆さまから信頼され、評価・選択される企業であり続けたいと考えております。

皆さま方におかれましては、今後とも当社の事業運営に格段のご理解とご支援を賜われますよう、心からお願い申し上げます。

ホームページアドレス <http://www.yonden.co.jp>

<http://www.yonden.co.jp/m>(携帯電話サイト)



### 主要事業場

本 店	〒760-8573 高松市丸の内2の5	☎ (087)821-5061	-
徳島支店	〒770-8555 徳島市寺島本町東2丁目29番地	☎ (088)622-7121	☎ 0120-564552
池田支店	〒778-8504 三好郡池田町字シマ930番地3	☎ (0883)72-7500	☎ 0120-410778
高知支店	〒780-8545 高知市本町4丁目1番11号	☎ (088)822-9211	☎ 0120-410430
中村支店	〒787-8691 四万十市中村大橋通6丁目9番地21号	☎ (0880)34-2161	☎ 0120-410787
松山支店	〒790-8540 松山市湊町6丁目6番地2	☎ (089)941-6115	☎ 0120-410452
宇和島支店	〒798-0033 宇和島市鶴島町1番28号	☎ (0895)22-4733	☎ 0120-410582
新居浜支店	〒792-0023 新居浜市繁本町9番32号	☎ (0897)37-2101	☎ 0120-459789
高松支店	〒760-8501 高松市亀井町7番地9	☎ (087)831-4141	☎ 0120-410761
東京支社	〒100-0005 東京都千代田区丸の内1丁目3番1号 東京銀行協会ビルチング18階	☎ (03)3201-4591	-

(注)平成17年4月時点

地域と共に生き 地域と共に歩み 地域と共に栄える



四国電力株式会社

再生紙を使用しております